

# 日本核物質管理学会年次大会

## 発表要旨作成要領

2018年8月20日 改訂

日本核物質管理学会 プログラム委員会

## 1. 応募資格

学会員、非学会員を問いませんが、発表は年次大会参加登録（有料）が必要です。（学生は無料）

## 2. 申込件数

発表者 1 人あたりの申込数の制限はありません。なお、会場及び時間制約上、口頭発表は概ね 30 件以内といたします。応募者多数の場合は、ポスター発表への変更をお願いします。

## 3. 発表形態

口頭発表およびポスター発表

## 4. 発表分野

核物質・核不拡散・核セキュリティ等に関する純粋な学術的研究の他、関連分野の経験・課題、問題提起、関連機器やシステムの紹介、若手・学生研究等。「第 39 回日本核物質管理学会年次大会開催と発表募集のお知らせ」に添付の「年次大会発表テーマの一例」をご参考下さい。

## 5. 発表方法（口頭発表）

- 1 件につき 15 分・質疑応答 5 分（計 20 分）以内です。
- 使用する言語は日本語または英語とします。
- 液晶プロジェクターの使用が可能です。

## 6. 申込方法及び期限

- 申込期限：**2018 年 8 月 27 日**
  - 申込先：日本核物質管理学会事務局（am039-youshi@inmmj.org）
  - 提出物：発表要旨（作成要領は 11. 参照）、発表者略歴を電子メールに添付
  - その他：
    - ・所属組織等の発表許可が必要な場合は、あらかじめ手続きを終了したうえで申し込み願います。
    - ・希望する発表形態（口頭発表またはポスター発表）を明記
    - ・若手<sup>(注)</sup>・学生には表彰審査対象となるポスター発表を推奨します。発表要旨提出時には、若手または学生である旨、合わせてお知らせ下さい。
- 注) 若手=発表当日 35 歳以下とする。

## 7. 発表者変更、取り下げ等

事情により発表者や著者を変更する場合または発表申込を取り下げる場合は、電子メールにて **2018 年 9 月 21 日までに事務局（am039-youshi@inmmj.org）に連絡**願います。その後の変更については、要旨集に反映されない場合があることを予めご了承ください。

## 8. 発表要旨の採否

年次大会では、発表希望者の学術または成果発表の自由を尊重することを基本とします。一方で、発表範囲、論理展開、事実関係または学会の社会的役割等を総合的に勘案し、提出された発表要旨を対象として、下記の基準に従い、プログラム委員会\*が一定の審査手順に従って査読し、発表の採否を決定します。審査の結果、論旨展開や文法等に不備がある場合や、審査基準を満足しない場合は、発表要旨の修正を求めることがあります。プログラム委員会の指示に反し、適切な修正が、定められた期限内に行われない場合には、発表を認めない場合があります。

### ※プログラム委員会の構成（参考）

核物質管理の分野における実務経験（マネジメント、技術・研究開発、政策等）を有する者数名及び同関連分野において学位（博士）を有する者数名で構成する。

### 審査基準（査読基準）

プログラム委員会では、以下の基準を踏まえ、総合的に判断し、日本核物質管理学会の発表としての適切性の観点から、発表採否を決定します。

- 核物質管理に関連する発表であり、別に定める発表範囲（年次大会発表テーマの一例）を大きく逸脱していないこと。
- 目的、方法、論理的な結果あるいは結論が記載されていること。
- オリジナルな発表であり、過去に内容の全部または主要な部分が既に公表されていないこと（米国本部における発表を除く）。
- 以下のいずれかの種別に該当すること
  - ◇ 研究発表 研究の対象・方法あるいは結果にオリジナリティーがあるもの。
  - ◇ 技術報告 技術経験や知見をまとめた実用価値のあるもの。必ずしもオリジナリティーにとらわれない。
  - ◇ 活動報告 ベストプラクティスや人材育成プログラム事例など、本分野の発展に価値のある活動報告。
  - ◇ 総説 これまでの知見や歴史をレビューし、本分野を広く展望したもの。
  - ◇ その他 プログラム委員会により発表が適正であると認められたもの。
- 誹謗中傷、公序良俗に反する文言、政治的・宗教的思想が含まれていないこと。
- 公共の利益に資すること。
- 若手研究者・技術者への技術伝承につながる内容であること。
- 発表要旨作成のガイドラインに沿っていること。

## 9. 査読結果の通知

査読結果は、審査終了後にプログラム委員会よりメールで通知いたします。

## 10. 発表プログラムの編成

発表分野に応じて、時間割、発表順及び座長（別途指名）をプログラム委員会で決定しますので、一任願います。

## 11. 発表要旨の取り扱いについて

要旨集は、印刷物で配布するとともに学会ホームページに掲載（公開）いたしますので、予めご了承下さい。

## 12. 発表要旨作成要領

口頭発表およびポスター発表者は、「日本核物質管理学会年次大会発表要旨テンプレート」(別紙)を用い、テンプレート中の手引きに従い要旨を作成して下さい。本要旨は、要旨集(公開版)に掲載されます。

使用ソフト : Microsoft Word

用 語 : 日本語または英語

用紙サイズ : A4判 2頁 以内 (図、表を含み 5MB 以内、解像度 300dpi 以上)

版 面 :

- 余白、行間、フォント種別及びフォントサイズはテンプレートに従う。
- 日本語の論文タイトルとその下に英文タイトルは中心揃え。
- 論文発表者名(アンダーライン)、共著者名、所属組織名(但し、組織区分 e. g. (株)、(独)、(公財)、所属部署及び役職名は省略)をそれぞれ日本語と英語で併記。
- 使用する用語に関わらず、本文と上記所属組織名(英語)の間に、英語のサマリーを簡潔に1～2行程度で記載。

構成 :

特に指定はしませんが、論旨展開や成果が分かるよう、緒言、試験・評価、成果等の構成で作成することをお勧めします。また、必要に応じて、表や図、グラフ、写真等を含めることができます。

提出方法等 :

発表者本人のメールアドレスより事務局 ([am039-youshi@inmmj.org](mailto:am039-youshi@inmmj.org)) 宛に発表者所属組織名、役職名、連絡先電話番号を明記、併せて座長が紹介するための発表者略歴を添えて提出すること。

その他

- シリーズ発表を希望する場合は、共通の論文タイトルとし、副題に発表順序を示す番号を記入すること。
- 聴衆者からの発表内容等に関する質問を受ける場合は、要旨の下余白に発表者連絡先メールアドレスを記載(任意)
- ポスター発表を希望の場合は、投稿の際のメールに“ポスター希望”と明記のこと。
- 若手、学生の場合は、投稿の際のメールに“若手”または“学生”と明記のこと。
- テンプレート等、要旨の記載方法について質問、相談事項等がある場合は、事務局 ([am039-youshi@inmmj.org](mailto:am039-youshi@inmmj.org)) までメールで問い合わせ願います。

## 13. その他

フルペーパー及びプレゼンテーション等の作成要領については、後日、学会ホームページに掲載(公開)いたします。

以 上